

科目名	音楽基礎 2							年度	2024
英語科目名	Basic Theory of Music 2							学期	後期
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	稗島寿太郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		歌手・作曲家・音楽プロデューサー		
【科目の目的】 楽譜から曲調や楽曲の構成を理解し、楽譜を追いながら音楽を聞ける。様々な音楽用語、演奏記号等を理解する。									
【科目の概要】 音楽制作に携わる人間として必要な音楽基礎知識・音楽用語・様々なジャンルの音楽の歴史なども学ぶ。まず音楽制作の現場で音楽上でのコミュニケーションを円滑に進めるために楽譜を迫えることは基本である。音符や休符・楽譜用語・コード（和音）などを理解していくための授業です。									
【到達目標】 A. 様々な演奏記号・アーティキュレーションの種類・テンポや調（キー）を理解する B. 楽譜を追いながら各楽器の演奏内容やアンサンブルを聴き分ける C. 様々な音楽ジャンルや音階等その特徴や歴史的背景を知る									
【授業の注意点】 キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。必ず筆記用具、ノートを用意すること。授業で使用したプリントやノートはいつでも振り返って確認できるように学んだ順にファイルして毎回の授業で持ってくること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	様々な音楽用語や演奏記号を理解できる。転調や曲構成を理解できる	オーケストラ・スコアの演奏記号やアンサンブルを理解できる	基本的な音楽用語（強弱記号、テンポ等）を理解できる	曲の流れ、構成が理解できる	音楽用語やキーがわからない				
到達目標 B	曲全体の構成や曲調を把握し演奏記号やテンポ変更・複雑な転調等も理解して読譜できる	音楽用語を理解しオーケストラのスコアのアンサンブルを理解できる	基本的な音楽用語（強弱記号・テンポ）を理解し簡単な楽譜を追うことができる	簡単な楽譜を追うことができる	楽譜を目で追えない				
到達目標 C	幅広い音楽ジャンルの見識を深め、西洋音楽の歴史や作曲家・作品も理解している	幅広い音楽ジャンルに興味を持ち世界中様々な楽器や独特な音階がある事を知っている	幅広い音楽ジャンルに興味を持って聞いている	自分の好きな音楽ジャンルやアーティストへの作品に興味がある	ジャンル別音楽や使用されている楽器を知らない				
【教科書】 プリントを配布（A4で約30ページ）									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽基礎 2			年度	2024
英語表記		Basic Theory of Music 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	反復記号	楽曲構成の理解	1 リビートマーク	様々なリビートの仕方を理解する	3	
			2 ダルセーニョとダカーボ	D. S. と D. C. マークを使った楽譜が読める		
			3 様々な楽譜進行	その他の反復記号を理解し楽譜を追える		
2	分数コード・代理コード	コードの種類の理解	1 スラッシュコード	分数コード・複雑な和音の成り立ちを理解する	3	
			2 代理コード	コードの置き換え・構成音を覚える		
			3 ミニテスト実施	これまでの学習内容を理解しているかの確認ができる		
3	音階・スケール	様々な音階の理解	1 ペンタトニックスケール	5 音音階（ペンタトニックスケール）の理解	3	
			2 ブルーノートスケール	ブルーノート（6 音音階）の理解		
			3 チャーチモード	教会旋法（MODE）の種類の把握		
4	日本音階とテトラコルド	様々な音階の理解	1 日本音階	日本古来の様々な音階の理解	3	
			2 テトラコルド	ドレミ... 7 音階の元になった音階の理解		
			3 世界の音階	世界の代表的な独特の音階の把握		
5	リステッソテンポと変拍子	様々な拍子の理解	1 単純拍子	単純拍子とリステッソテンポの理解	3	
			2 複合拍子	複合拍子の種類の把握と読譜		
			3 混合拍子：変拍子	変拍子の種類の把握と読譜		
6	音楽ジャンル研究-1	音楽ジャンルの理解	1 ラテン音楽	中南米・ラテンアメリカ音楽の把握	3	
			2 JAZZ-1	様々なJazz Music（ビバップ・モダン等）の把握		
			3 JAZZ-2	様々なJazz Music（MODE・フュージョン等）の把握		
7	音楽ジャンル研究-2	音楽ジャンルの理解	1 Blues	ゴスペルやブルースの歴史背景の理解	3	
			2 ROCK/R&B	Rock Music や Rock'n Roll の起源を理解する		
			3 Hiphop	現在に至る音楽の歴史の把握		
8	音楽ジャンル研究-3	音楽ジャンルの理解	1 EDM	Dance Music の色々な特徴を理解する	3	
			2 J-POP	J-Popの楽曲研究ができる		
			3 その他のジャンル	その他アニソンやアイドルの音楽研究ができる		
9	西洋音楽の歴史-1	音楽史の理解	1 イタリア語	音楽用語はなぜイタリア語なのか、その起源を理解する	3	
			2 ピアノの誕生	西洋音楽の歴史を理解する		
			3 ドレミの起源	そもそもドレミとは何かその起源を理解する		
10	西洋音楽の歴史- 2	音楽史の理解	1 バロック期の音楽	古代・中世・ルネサンス・バロック期の音楽の理解	3	
			2 古典派音楽	古典派の作曲家・楽曲を把握する		
			3 ロマン派音楽	代表的ロマン派の作曲家・楽曲を把握する		
11	楽器研究-1	オーケストラの編成	1 オーケストラの編成	オーケストラの楽器配置や編成の理解	3	
			2 オーケストラの楽器	弦楽器の種類と特徴の理解する		
			3 オーケストラの楽器	木管楽器の種類と特徴の理解		
12	楽器研究-2	オーケストラの楽器の理解	1 オーケストラの楽器	管楽器の種類と特徴の理解	3	
			2 オーケストラの楽器	打楽器の種類と特徴		
			3 オーケストラの楽器	その他に使用される楽器の種類と特徴の理解		
13	スコアリーディング-1	音楽用語・演奏記号	1 強弱記号	強弱を表す色々な記号の理解	3	
			2 速度記号	テンポ（速度）を表す色々な記号の理解		
			3 発想記号-1	演奏表現を表す色々な記号の理解		
14	スコアリーディング-2	発想記号とアーティキュレーション	1 発想記号-2	演奏表現を表す色々な記号の理解	3	
			2 演奏記号	アーティキュレーション（演奏技法）の種類を把握する		
			3 その他の記号	装飾記号・省略記号・楽器独自の奏法記号等を理解する		
15	スコアリーディング-3	後期の理解度をチェック	1 後期まとめ	クラシックの大編成のスコアを読む	3	
			2 後期まとめ	反復記号の理解		
			3 後期まとめ	その他の音楽記号の理解		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等